

平成 3 1 年度

# 入学者選抜要項



岐阜県立看護大学

## 本学はこのような学生の入学を求めています

岐阜県立看護大学では、看護実践の中で必要となるヒューマンケアの基本技術を身につけ、看護の対象となる人々のもつ困難や様々な問題の解決に深い責任を感じる者で、常に創造的に問題解決行動をとっていく看護職の育成を目指しています。

そのために本学では、看護および人々へのケアに対して深い関心もてる人、人間やその生活に深い関心をもてる人、自ら考え積極的に問題解決行動をとることができる人、自分自身の豊かな人間性を培っていくことを望む人、文系、理系に偏ることなく均衡の取れた学力をもつ人、岐阜県の保健・医療・福祉の充実に深い関心もてる人の入学を求めています。

## 目 次

1	看護学科の教育理念と教育目標	1
2	募集人員	2
3	出願資格	2
4	選抜方法	3
	(1) 一般入試(前期日程)	3
	(2) 推薦入試A(岐阜県内高校推薦入試)	4
	(3) 推薦入試B(大学入試センター試験を課す推薦入試)	5
5	個別学力検査等の期日等	6
6	身体等に障がいのある入学志願者の事前相談	6
7	平成33年度(2021年度)入試以降の入学者選抜	6
8	大学案内・学生募集要項(推薦入試B・一般入試)の請求方法	7

## 1 看護学科の教育理念と教育目標

### (1) 教育理念

看護学は、保健師、助産師、看護師等、看護職の仕事の専門性を支える学問です。本学は、どのようにしたら人々に質の高い看護サービスが提供できるかを追究します。そのために看護学の立場から責任を持って問題解決に取り組める人材を育成することを目指しています。

学士課程では、看護学領域の専門の基礎を教授します。これからの看護専門職には、人々のヘルスケアニーズに対応できる能力や、多様な課題の問題解決に取り組むために自らの専門機能を拡大していく能力、さらには保健・医療・福祉領域の専門職や関係者とケアチームを組んで協働し、各メンバーの役割機能を調整し指導性を発揮できる能力が求められます。学士課程の段階では、その基盤となる総合的な学力と人間性の涵養を重視します。

また、本学は、県内の保健・医療・福祉の諸問題に対しては、県立の高等教育機関として研究活動に基づく理論的な裏付けを持って創造的な解決策を提言し、改革の原動力となる人材の育成と供給を行います。そのために、地域の生活文化や人々のライフスタイルに即応したヘルスケアのあり方を追究し、看護実践にかかる研究活動を活発に行います。したがって、看護学科の教育では、これらの研究活動を反映し、実践性・応用性に富んだ教育素材を用いた学修が組み込まれています。看護学は、生涯を通してその専門性を深めるべき学問領域であるので、看護学科では、これらの特色ある教育を通して、その入り口を確実に導きます。

### (2) 教育目標

本学で育成しようとする看護職の姿は、看護実践の中で必要となるヒューマンケアの基本と技術を身につけ、患者など看護の対象が遭遇した困難や諸問題の解決について、深い責任を感じ、常に創造的に問題解決行動をとって活躍できる人です。

そのため、次の能力の育成を目指します。

- ア 看護実践に必要な基本的技術と知識を持つジェネラリストとしての能力
- イ 生活者としての人間に対する深い理解と総合的判断力
- ウ 看護の対象となる人とその家族、地域住民等の本来持っている問題解決能力を支援、健康問題の解決に貢献する能力
- エ 保健・医療・福祉等の関係者並びに地域を構成する人など、ケアにかかわる人々と協働活動ができる能力
- オ 看護実践を重ねることを通して看護学研究への関心を深め、看護実践の改革に貢献できる基礎的能力

学士課程では、このような看護職として活躍するための基礎をつくります。

本課程を修めることによって、学士（看護学）の学位が授与され、保健師、看護師の国家試験受験資格が得られます。人数制限（各6名）がありますが、所定の科目を履修した者は助産師の国家試験受験資格または養護教諭一種免許を得ることができます。卒業時には、国家試験を受験し、合格後は看護実践の場にて就業することとなります。

## 2 募集人員

学部 学科	入学定員	選抜方法	募集人員
看護学部 看護学科	80名	一般入試（前期日程）	50名
		推薦入試A（岐阜県内高校推薦入試）	20名
		推薦入試B（大学入試センター試験を課す推薦入試）	10名

## 3 出願資格

### （1）一般入試（前期日程）

次のいずれかの要件に該当する者で平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下大学入試センター試験）で本学の指定する教科・科目を受験した者としてします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧ その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で平成31年3月31日までに18歳に達するもの

#### 出願前の手続

上記⑧により出願する者は、出願前に本学において個別の資格審査により認定を受ける必要があります。資格審査を希望する者は、下記の申請期間内に申請手続をしてください。なお、申請手続については事前に学務課までお問い合わせください。

資格審査申請期間 : 平成30年8月20日(月)から平成30年8月24日(金)  
 問い合わせ先 : 学務課入試担当 TEL: 058-397-2300

### （2）推薦入試A（岐阜県内高校推薦入試）

次の各要件のすべてに該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者としてします。なお、高等学校長が推薦できる人数は、1高等学校につき2名までとします。

- ① 岐阜県内の高等学校を平成31年3月卒業見込みの者
- ② 高等学校3年生1学期終了時において、評定平均値が4.0以上の者
- ③ 合格した場合、本学に必ず進学することを確約できる者
- ④ 本学卒業後、岐阜県内において看護職者として就業する強い意思を有する者

### (3) 推薦入試B (大学入試センター試験を課す推薦入試)

次の各要件のすべてに該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者とします。岐阜県内に限らず、全国の高等学校から募集します。なお、高等学校長が推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を平成31年3月卒業見込みの者
- ② 評定平均値が3.5以上の者
- ③ 合格した場合、本学に必ず進学することを確約できる者
- ④ 本学卒業後、岐阜県内において看護職者として就業する強い意思を有する者

## 4 選抜方法

### (1) 一般入試 (前期日程)

大学入試センター試験 (前年度成績の利用はできない) 及び個別学力検査等の得点・評価に調査書等の内容を総合して判定します。

#### ① 大学入試センター試験

入学志願者に課す教科・科目

教科名	科目名
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1科目選択
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」 「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目選択
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」 } から2科目選択 または 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1科目選択
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」 } から1科目選択

※1 「地理歴史・公民」について2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用します。

※2 「数学」について2科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

※3 「理科」について基礎を付さない科目 (「物理」「化学」「生物」「地学」) を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用します。また、基礎を付した科目 (「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」) を2科目及び基礎を付さない科目を1科目受験した場合は、基礎を付した科目2科目の合計得点と基礎を付さない科目1科目の得点を比較し、高い得点を合否判定に使用します。

※4 「英語」にはリスニングを含みます。

## ②個別学力検査等

入学志願者に課す科目

科 目
小論文・面接

※1 小論文は、文章や図表を提示し、読み取る能力・考える能力・表現する能力等を調べます。

※2 面接は、看護学を学ぶにふさわしい力を培っているかを調べます。

## ③配点・評価

試 験	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	面接
大学入試センター試験	100	100	100	100	100		500	
個別学力検査等						150	150	4段階

※ 大学入試センター試験科目は、100点に換算して使用します。

外国語の英語については、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計点を100点に換算して使用します。

## （2）推薦入試A（岐阜県内高校推薦入試）

小論文・面接試験を行い、その試験結果に調査書等の内容を総合して判定します。  
なお、大学入試センター試験は課しません。

### ①個別学力検査等

入学志願者に課す科目・配点（評価）

科 目	配点（評価）
小論文	100点
面 接	4段階評価

(3) 推薦入試B (大学入試センター試験を課す推薦入試)

面接と大学入試センター試験の得点、さらに調査書等の内容を総合して判定します。

①大学入試センター試験

入学志願者に課す教科・科目

教科名	科目名
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」 「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」
	「物理」「化学」「生物」「地学」
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」

※1 「地理歴史・公民」について2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用します。

※2 「数学」について2科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

※3 「理科」について基礎を付さない科目（「物理」「化学」「生物」「地学」）を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用します。また、基礎を付した科目（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）を2科目及び基礎を付さない科目を1科目受験した場合は、基礎を付した科目2科目の合計得点と基礎を付さない科目1科目の得点を比較し、高い得点を合否判定に使用します。

※4 「英語」にはリスニングを含みます。

②個別学力検査等

入学志願者に課す科目

科目
面接

③配点・評価

試験	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計	面接
大学入試センター試験	100	100	100	100	100	500	
個別学力検査等							4段階

※ 大学入試センター試験科目は、100点に換算して使用します。

外国語の英語については、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計点を100点に換算して使用します。

## 5 個別学力検査等の期日等

### (1) 選抜の期日

選抜方法	期 日
一般入試 (前期日程)	平成31年 2月25日(月)
推薦入試A (岐阜県内高校推薦入試)	平成30年11月17日(土)
推薦入試B (大学入試センター試験を課す推薦入試)	平成31年 2月 6日(水)

### (2) 出願期間

選抜方法	期 間
一般入試 (前期日程)	平成31年 1月28日(月) ~ 2月 6日(水)午後5時00分必着
推薦入試A (岐阜県内高校推薦入試)	平成30年11月 1日(木) ~ 11月 7日(水)午後5時00分必着
推薦入試B (大学入試センター試験を課す推薦入試)	平成31年1月21日(月) ~ 1月27日(日)午後5時00分必着

### (3) 合格発表日時及び方法

選抜方法	日 時
一般入試 (前期日程)	平成31年 3月 5日(火) 午前10時00分
推薦入試A (岐阜県内高校推薦入試)	平成30年11月26日(月) 午前10時00分
推薦入試B (大学入試センター試験を課す推薦入試)	平成31年 2月13日(水) 午前10時00分

岐阜県立看護大学内の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。なお、推薦入試については、高等学校長宛てにも合否結果を送付します。電話等による問い合わせには一切応じられません。

## 6 身体等に障がいのある入学志願者の事前相談

本学に出願を希望する者で身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、あらかじめ学務課入試担当に連絡し、相談をしてください。


## 7 平成33年度(2021年度)入試以降の入学者選抜

大学入学共通テストに関する情報は決定次第ホームページ等で公開します。




## 8 大学案内・学生募集要項（推薦入試B・一般入試）の請求方法

### (1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び学生募集要項（推薦入試B・一般入試）が請求できます。詳しくは、本学ホームページ（<http://www.gifu-cn.ac.jp/>）をご覧ください。

### (2) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

①下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	050-8601-0101 IP電話（24 時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

②請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学案内	563712	180円	随時
学生募集要項（推薦入試B）	621232	180円	9月上旬
学生募集要項（推薦入試B）・大学案内	621242	215円	9月上旬
学生募集要項（一般入試）	583702	180円	11月上旬
学生募集要項（一般入試）・大学案内	543702	215円	11月上旬

③あとはガイダンスに従って登録してください。

#### (1) (2) に関する注意事項

- ・テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。
  - ・請求から1～2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。1週間以上（予約受付の資料は発送開始から1週間以上）経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
  - ・料金はお届けする資料に同封の料金支払用紙の支払い方法に従ってお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。
- ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。コンビニ払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

(1) (2) の請求方法についてのお問い合わせは  
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

### (3) 大学へ直接請求する場合

平成31年度学生募集要項は、推薦入試Bについては9月上旬より、一般入試については11月上旬より配布を開始する予定です。

配布開始時期以降に、電話、ファックス又は電子メールにて、送付先の郵便番号・住所・氏名・電話番号を下記にご連絡ください。着払い郵便にて送付いたします。

岐阜県立看護大学 学務研究部 学務課 入試担当  
TEL :058-397-2300(代表)  
FAX :058-397-2302  
MAIL:gakumu@gifu-cn.ac.jp

※上記のいずれの方法であっても、資料請求は余裕を持って行ってください。

※推薦入試Aの学生募集要項は個人配布はしません。在学する高等学校にお問い合わせください。

## 公立大学法人岐阜県立看護大学

〒501-6295  
岐阜県羽島市江吉良町 3047-1

TEL 058-397-2300 (代表)  
FAX 058-397-2302  
MAIL [gakumu@gifu-cn.ac.jp](mailto:gakumu@gifu-cn.ac.jp)  
HP <http://www.gifu-cn.ac.jp>